

瀬戸が旭對抗戦2連勝

瀬戸市協会と尾張旭市連盟の對抗団体戦は8月14日(日)、瀬戸市民公園Aで開催。男子複、女子複、混合複に熱戦。瀬戸が通算20勝13敗で昨年に続き連勝。最近10年の成績を9勝1敗とした。【2面に詳報】

錦織輝く「銅」



96年ぶりのメダル「銅」 日の丸を背に晴れやか

◆錦織=『準決勝はミスが多すぎてマリーに太刀打ちできなかった。3決・ナダル戦は苦しい局面もあったが、日本のために戦うのは心地よく、楽しい。朗報が届けられて、うれしい』



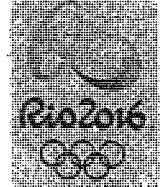
マリーに1-6、4-6

準決勝・対マリー。前日のモンフィスとの死闘が響き、1-6、4-6。「屈辱的完敗」と錦織。対戦成績はこれで1勝7敗

《やはり魔物が》五輪には魔物が棲む——男子単、本命・ジョコビッチ(セルビア)が1回戦でデルポトロ(アルゼンチン)に敗退。涙でコートを去った。女子複の「金」候補・ウィリアムズ姉妹(米)も初戦でチェコペアに敗れた。

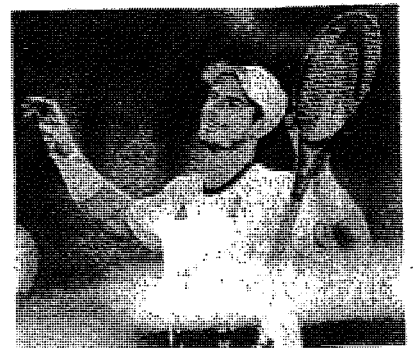
準決勝マリーに完敗したが 3決で難敵ナダル倒す

五輪男子単、錦織圭(26歳・日清食品)は準決勝でA・マリー(英)に完敗したが、3位決定戦でナダル(ス・ペイン)を倒して「銅」メダル獲得。男子はマリーが連覇。女子はブイグ(フエルトリコ「金」)【8面に関連記事】



好機。ジョコビッチ、フエテラー、バブリンカ不在。難関はマリー… 準々モンフィスと死闘 第4シード・錦織は、ラモス(ス・ペイン)、ミルマン(豪)、マルティン(ス・ペイン)を下し、準々決勝でモンフィス(仏・第6シード)と激闘2時間53分、3度のマッチポイントをしのご切つて辛勝。4強入り。 準決勝・マリー。過去1勝6敗。前日の疲れが脚に残る。マリーの好サーブと巧打に対応できず第1セットは1-6。第2セットは3-5から「エアケイ」を決めるなど粘つたが4-6のストレート負け。 5-2、5タイブレ失う 3決に回つて第3シード・ナダルと。過去1勝9敗。第1セット、リターンとバックハンドが冴え、2ブレイクの6-2で先取。第2セット

も5-2とリード。あと1ゲームでメダル。絶対好機の第8、第10ゲームで決め切れず、連続ブレイクを許してタイブレに。これをあつさり1-7で落とす。 最終セット、先にブレイクして3-1。互いにキープで5-3のサーブ。7本目エースで40-15。 最後はサーブで歓喜の「銅」！ 五輪単での日本選手のメダルは1920年・アントワープ大会の熊谷一弥の「銀」以来96年ぶり。



デルポトロと4時間2分の決勝、初の五輪2連覇を達成したA・マリー

瀬戸逃げ切り20勝13敗 旭戦

お盆熱闘5時間

40年を超す伝統の瀬戸旭對抗戦。男複・女複・混複の3種目のダブルスのみ。即席ペアで対戦し、通算成績を競う団体戦。

午前9時、選手たちが続々集合。10時から開会式。両軍整列、会長あいさつでは1974年の初回から出場の

午前に貯金 旭の「食後の反撃」しのぐ

瀬戸・久田隆彦、林浩次の両選手を紹介した。記念写真も撮ったあと、いよいよ試合開始。
暑さと選手の健康を考慮し、短縮形の「6ゲーム先取ノード」とした。

旭、寿司弁が即効？
両軍の女性人数の不均衡もあって、旭には不利な対戦も。例年、前半は接戦。瀬戸

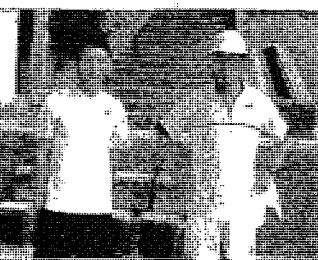
が星の「398弁当を境にエッジン全開となる展開だが、今年には異変。
旭は「寿司弁当の効果も群？食後の午後は見違えるように反撃開始。互角以上の戦いで徐々に差を詰める。しかし午前の「12差」は余りに大きかった。
午後3時 最終戦へ
午後3時前、瀬戸リードの

両会長閉会のあいさつ

懲りずにまた来夏おいでを
瀬戸・高木会長「残暑の中、両軍お疲れさま。瀬戸の20勝13敗。午前中は圧倒的でしたが、午後は挽回されました。旭にはアウチーのインデイがありながら、後半の頑張り。来夏につなごう。これに懲りずにまた来夏ぜひおいで下さい」
旭・庄原会長「残念、またやられました。五輪の年、参加することに意義あり」ということで、よく追いつけました。(5時まで50戦すれば逆転できたかも)」

五輪の年「参加に意義あり」

通算成績で瀬戸の勝利は既に決まっていたが、旭は「せめて一矢」の意地のラスト試合。両軍が注目、1ポイントごとに大きな声援を送った。
試合は1ゲーム差で逆転、また逆転。5-5の競り合いとなつて互いのマッチゲーム。瀬戸・高木がマッチポイントを逃れるリターンエース。最後は旭がミス。瀬戸が6-5で最終戦を白星で飾り、通算20勝13敗として3時までの全33戦を終えた。



最終戦を白星で飾った瀬戸の高木順(左)・高木正則(右)ペア

ままセンターコートで最終戦。恒例の会長ペア対決。瀬戸は高木順・高木正則の高・高組。旭は今年も庄原・森田組。

高木組 高木順(左)・高木正則(右)
旭組 庄原(左)・森田(右)

男子団体
高木組 高木順(監督)・高木正則(選手)
旭組 庄原(監督)・森田(選手)

名古屋準V
高木組 高木順(監督)・高木正則(選手)
旭組 庄原(監督)・森田(選手)

名門復活ののろし
6年ぶり出場で決勝。予選から全勝の大塚・川島組が今大会初黒星。単も高羽が敗れ、0-2で頂点を逃した。
宮尾監督は「試合中に強くなった。決勝は果敢に攻めて実力差をへ返された。選手はよく戦った」と讚えた。
過去4度優勝。出場20回を超す名門だが、2010年以降は出場も途絶えていた。「全国、勝てるチームとして再スタートしたい」と監督決意。

団体準V・名古屋(前左は宮尾監督)

熱戦の瀬戸、旭の選手たち



近年の対戦成績

2000年	▲瀬戸21勝21敗
2001年	○瀬戸23勝20敗
2002年	○瀬戸23勝19敗
2003年	(雨でお流れ)
2004年	○瀬戸25勝14敗
2005年	●瀬戸7勝9敗
2006年	●瀬戸14勝22敗
2007年	○瀬戸24勝15敗
2008年	○瀬戸21勝18敗
2009年	○瀬戸26勝21敗
2010年	○瀬戸28勝22敗
2011年	○瀬戸26勝23敗
2012年	○瀬戸26勝24敗
2013年	○瀬戸19勝16敗
2014年	●瀬戸11勝15敗
2015年	○瀬戸26勝20敗
2016年	○瀬戸20勝13敗

1974年開始 伝統の交流戦
瀬戸旭對抗戦第1回は1974年5月、旭中学で。以降中断期もあったが40年以上の歴史。旭・城山公園と瀬戸・東公園の交互開催だったが、瀬戸市民公園オープン以降は市民公園Aで。瀬戸が分がいが、勝敗よりも交流、親睦を主目的にしたダブルス団体戦。



瀬戸・高木会長(前)の閉会あいさつを聞く両軍

瀬戸軍
均信樹明久太夫良順則巳郎雅次央彦
和将裕和隆健峰高正滋太嘉浩剛隆一
村垣井村藤西藤田高木羽本橋服林樋久松
磯稻岩梅加川近柴高木丹橋服林樋久松

旭軍
陽冷孝淳明津順
子陽冷孝淳明津順
稲垣茂
橋本水谷千十タル
※旭との選手数均等化のため、梅村和久を旭(レギュラー)に、ほかに随時、瀬戸選手が旭軍として出場

個人戦4種目、愛知勢は8強に入れず



生前退位の意向だが

平成の次?—光陰矢の如し。写真は半世紀以上前の1枚。軽井沢か? 成婚は昭和34年(1959年)。「ミッチーブーム」、テニス大流行。小さく重いウッドラケットが懐かしい。82歳「生前退位」の意向。法規なく、簡単ではない。むしろ改憲理由に利用されることを危惧。(近)

今年度の行事

★第11回 100歳ダブルス大会

9月17日(土)市民公園A・B。午前9時～午後5時(午前7時から練習可)。市内在住・在勤または協会員。今年未成年で男子ペア=計100歳以上、混合ペア=計90歳以上、女子ペア=計80歳以上のダブルス。先着48組。過去優勝者も同一ペアで出場可(今季から変更)。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。受付=8月15日～8月31日。予備日=9月24日(土)。8月15日付け広報掲載。

★レディースビギナー大会

9月28日(水)市民公園A。午前9時～午後1時。市内在住・在勤または協会員女性。初心・初級者向けダブルス。過去優勝者はパートナーを替えれば出場可(今季から変更)。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。受付=9月1日～9月21日。予備日=10月5日(水)。9月1日付け広報掲載。

★秋季大会

10月9日(日)市民公園A・B。午前9時～午後7時(午前7時から練習可)。市内在住・在勤または協会員。ダブルス。男女1部、2部、壮年(50歳以上)。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。受付=9月1日～9月21日。予備日=10月23日(日)。9月1日付け広報掲載。

★第6回 高校学年別大会

10月29日(土)、11月3日(木・祝)。市民公園A・B。午前7時～午後5時。瀬戸近郊高校生。学年別男女単・複。参加費=1人800円。予備日=11月5日(土)。学校関係者に案内。

★壮年・レディース大会

11月27日(日)市民公園A・B。午前9時～午後5時(午前7時から練習可)。市内在住・在勤または協会員で男子45歳以上、女子40歳以上の男女別ダブルス。参加費=1組1,200円(協会員は無料)。受付=10月15日～11月9日。予備日=12月18日(日)。10月15日付け広報掲載。

★協会創立記念大会&総会

12月4日(日)市民公園A&体育館会議室。午前9時～午後5時。協会員親睦の即席ダブルス。当日会場で受付。途中午後1時まで総会。往復はがきで案内。必ず返信を。予備日なし。雨天時は総会のみ。

真夏。日中の暑さを避けた「ナイター教室」が8月6日(土)スタート。8月13、20、27日の土曜連続4回。市民公園Aで午後6時から9時までの3時間、合計12時間みっちり練習を積み、ばつちり腕を上げる。先着60人募集。受講者33人。照明塔の

クールに熱くナイター教室

8月・土曜4回 さわやかな汗・33人

今後の練習会

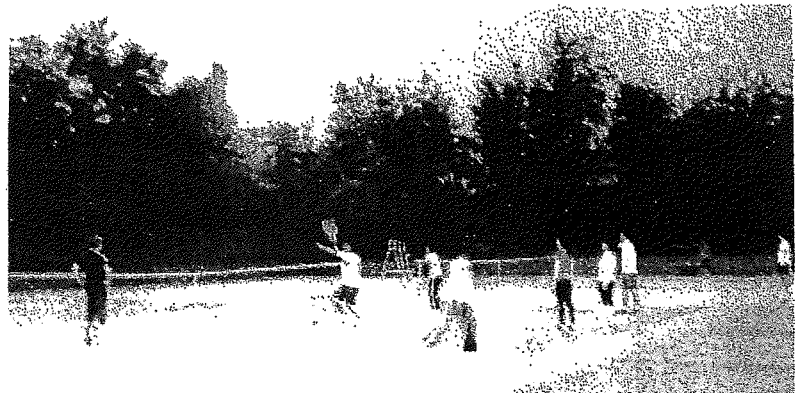
(10月で終了・市民公園A)

8月	17日(水)	19時～21時
	24日(水)	19時～21時
9月	7日(水)	19時～21時
	14日(水)	19時～21時
	17日(土)	17時～21時
	21日(水)	19時～21時
10月	5日(水)	19時～21時
	12日(水)	19時～21時
	15日(土)	17時～21時
	22日(土)	17時～21時

当番理事8月=近藤峰夫、加藤隆久、高木淳子
9月=高木正則、八百山浩幸、加茂冷子
10月=近藤峰夫、長江茂幸、迫西小夜子

10月10日(月・体育の日) 北コートで審判講習会

午前9時～午後1時 4個面で練習



3クラスにわかれて練習に励むナイター教室受講の皆さん(市民公園Aで)

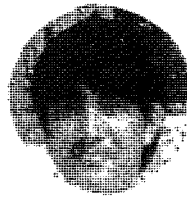
下、自己申告で「初級」「中級」「上級」のクラスにわかれ爽やかな汗を流している。協会役員らが球出しやアドバイス。6月の「指導者講習会」での経験を生かしてコーチ役を務める。

This is 協会ロゴ兼エンブレム



協会員対象の今年度企画「協会ロゴ兼エンブレム」募集は6月末日締め切り。7月3日、持ち回り選考委員会で審査。加藤隆久さんの作品④の採用を決めた。東京五輪エンブレムはモメだが、協会ロゴエンブレムはスナリ決定。採用作は同じデザインで白黒用とカラ

や会報の題号欄など協会発行物に使用する。加藤さんに副賞の商品券3000円、次点の大越三代子さんに同1000円を贈った。◆選考委員長(会計)石川さん「講評」意外に応募少数。加藤さんの作品は簡潔なデザインで玄人はなし。来季以降の会員証にはこのエンブレムを入れます」



◆加藤さん「えっ採用! やった! モチーフはボールラケット・汗の3つ。中央にボールを配し全体のブルーの紡錘形はラケットと汗を表徴。「ボール追って流そう爽やかな汗」がテーマ。協会創立年を入れました」

加藤隆久さんの作品を採用

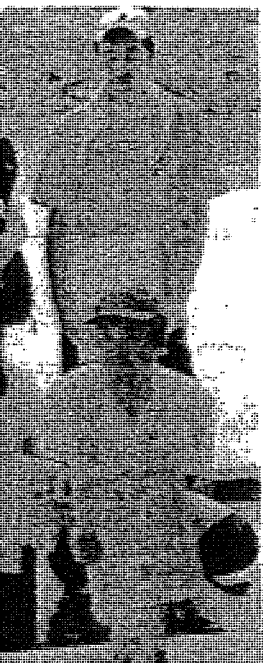
桑組が初優勝

ミックス会
大 会



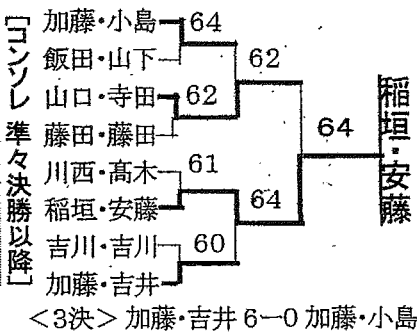
初優勝の信永・桑組(前左)、準優勝の小出・池本組(前右)、第3位の森川・土屋組(後右)と足立・松村組(後左)

堀・安藤組



の山口・寺田組・小島組(後左)

雨中断後も流れ渡さず
小出・池本の連覇か、信永・桑の初Vか。午後4時半から決勝と3決。雷注意報下、にわか豪雨。激闘途中、やむなく中断。約20分後、小降りに。オシロの強み



小出・池本組の連覇阻む

「先着64組」満杯の人気
第2回ミックスダブルス大会は7月3日(日)市民公園A・Bで開催。募集枠を先着50組から今回は64組に増やしたが、締め切り直前に満杯となる人気大会。
第1〜第8シードまで設定。ノーシード勢も強豪がひしめき、頂点めざして激戦。決勝は前年8強の信永・桑組が2連覇を狙う第1シードの小出・池本組に6-2で快勝し初優勝。2014年から2部に代えて実施のコンソレーションは決勝で稲垣・安藤組が山口・寺田組に6-4で競り勝って優勝。午後6時過ぎ閉会。

3位 森川・土屋組 足立・松村組

<ミックスダブルス成績>

- 優勝=信永尚人・桑 昭恵 (フリー)
- 準優勝=小出真弘・池本麻里絵 (JUEGO)
- 第3位=森川 繁・土屋菜月 (BRIO)
- 足立秀禎・松村 渚 (チーム愛牧)

[コンソレ]

- 優勝=稲垣 聡・安藤美奈 (ういる)
- 準優勝=山口嘉裕・寺田ひとみ (丸新・ロング)
- 第3位=加藤昌也・吉井麻津子 (NAS)
- 加藤 敦・小島いづみ (ういる)

ケーブルTVが取材に。放映された?

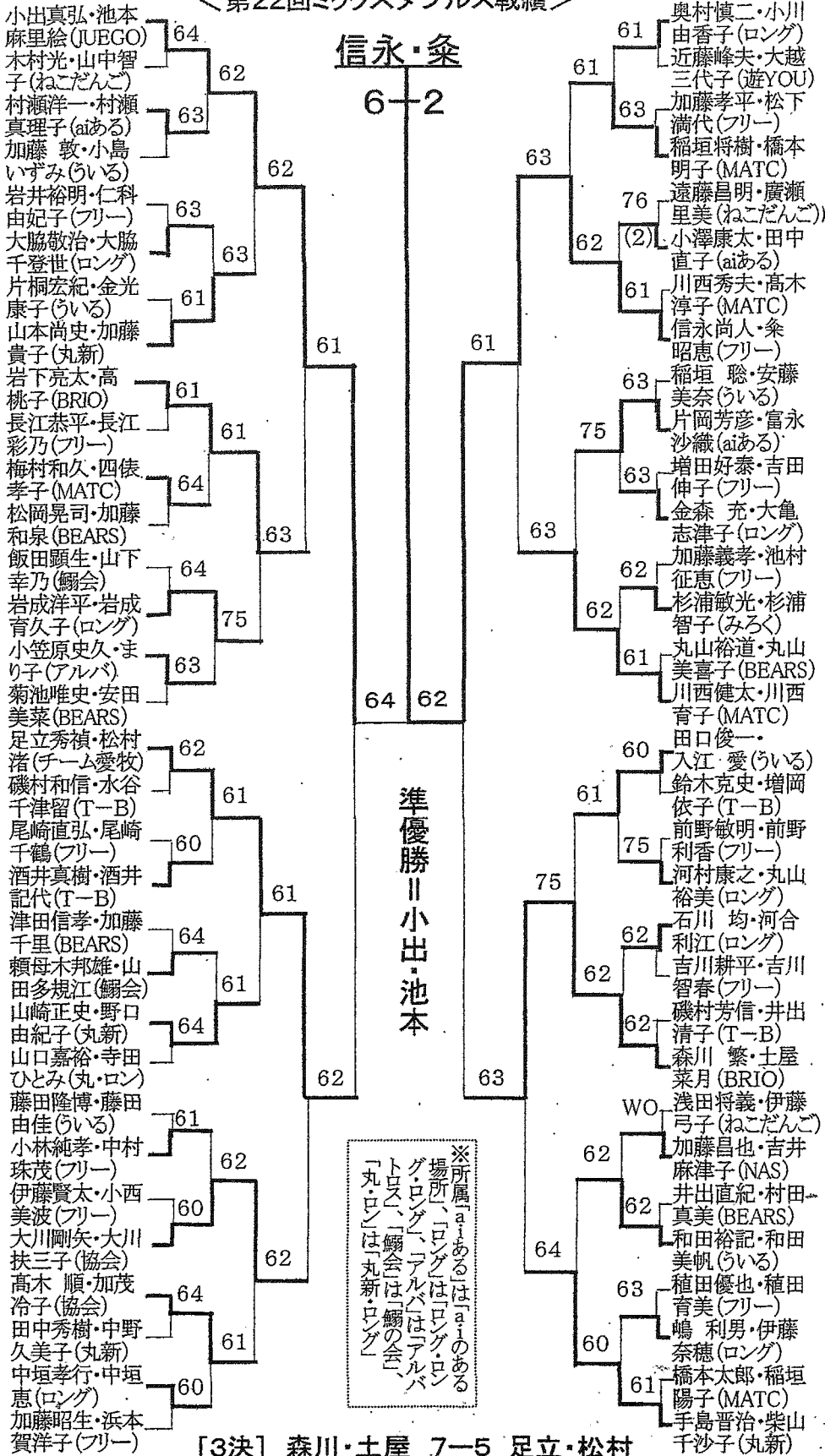
頂点めざし強豪激突
8強激突。準々決勝左ゾーンは小出・池本組―岩下・高組 足立・松村組―大川・大川組 小出・池本組と足立・松村組が快勝して準決勝で対決。小出・池本組が6-4で競り勝って決勝進出。連覇(あと1)。

山口・寺田組を下す

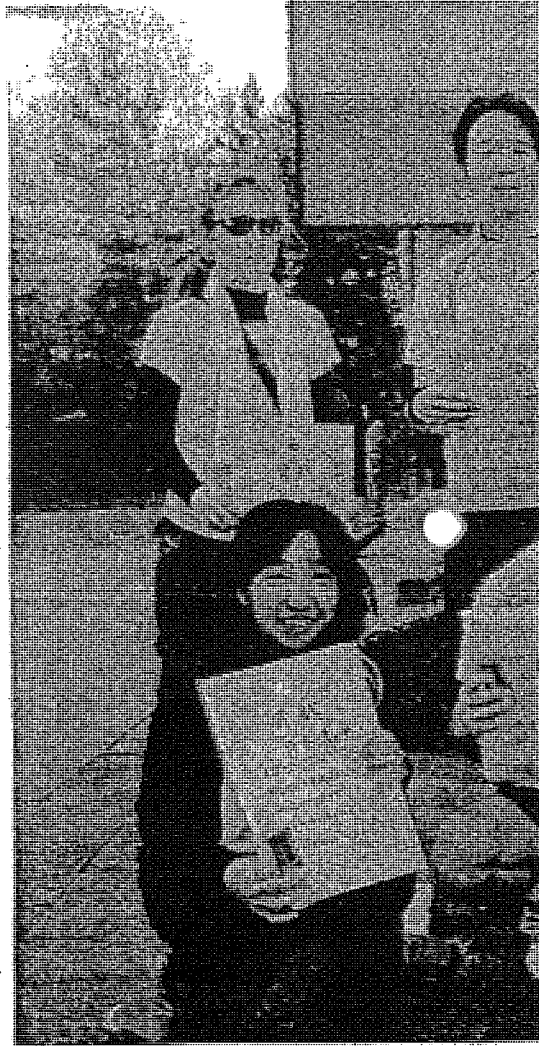
◆孝行・健太、奮戦。母子ペアの川西健太・育子組。健太・孝行の日。ほぼ全面カバー。ベースライン左右(走ってスピンの効いた深いストロークで奮戦。8強入りしたが、昨年6-2で退けた信永・桑に1-6の完敗。一疲れ。帰ります」と新居家路。

で濡れたコートながら再開。決勝は信永・桑組がリードを保ち6-2で押し切って初優勝。足ケイレンの弱点を克服。桑の粘り強く深いストロークが光った。3決、7-5接戦で森川・土屋。◆きつい11Vまで6連勝の道。4強入りの森川・土屋組、6-4ドロローはきついですね。ガス欠と足が心配。自分との戦いです。◆「気合だ、気合!」と己を励まして準決勝に臨んだが、◆大川夫妻8強に隠れたV候補も無念8強止まり。扶三子(旧姓・松元)は2000年創設の市選手権連覇の実力者。準々決勝で足立・松村組に敗れたが唯一のノーシード8強。

＜第22回ミックスダブルス戦績＞



信永



コンソレは稲



コンソレ優勝の稲塚・安藤組(前左)、準優勝(前右)、第3位の加藤・吉井組(後右)と加藤

09年 第15回	1部=山本尚史・柴山千沙子	2部=加藤 稔・木部文恵
10年 第16回	1部=山本尚史・柴山千沙子	2部=大脇敬治・大脇千登世
11年 第17回	1部=下林直人・高木淳子	2部=河本政義・清谷千佳
12年 第18回	1部=河本政義・清谷千佳	2部=岩成洋平・岩成育久子
13年 第19回	1部=村井清隆・原田沙知	2部=富田一行・水木洋子
14年 第20回	1部=森川 繁・竹山桂子(2部廃止)	
15年 第21回	小出真弘・池本麻里絵	
16年 第22回	信永尚人・糸 昭恵	

64ドローストーン
対戦は大会開催1週間前の土曜午後には体育館での公開ドローストーンで決まる。64ドローストーンの場合、第1で決まる。第8シードを置く。前年成績等が基準。今回、前年覇者(小出池本)が第1シード、前年準V(手島本)が第2シード。第3、第4は前年3位2ペア(足立・松村、川西・川西)の抽選。第5、第8シードの配置も抽選による。8つのシードを配置後、専用ソフコンソフトにより無作為に決定。1回戦での同一所属の対戦は原則的に避ける。

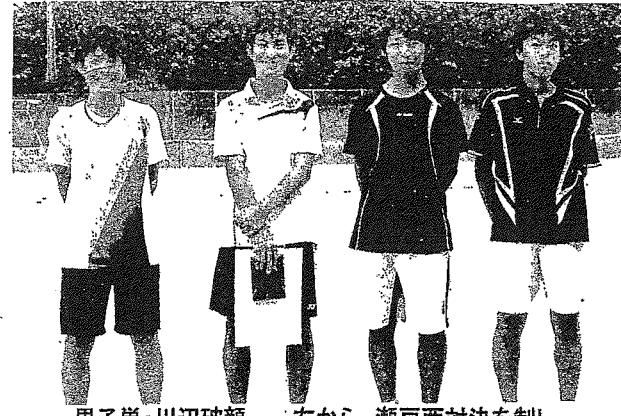
瀬戸地方 高校新人戦

第26回瀬戸地方高校生
新人大会は7月27、28の
両日、市民公園で開催。男
子単64人、複39組、女子
単39人、複35組。1、2
年生合計251人が参加。
男子単は瀬戸西の左利き
・川辺笙太が同僚・藤井啓
伍を下して優勝。男子複は
長久手の井上雄貴・南優太
組がV。女子単は栄徳の浅
井紀乃と乃が完勝。女子
複は瀬戸西の伊藤彩夏・川
村芽生(めい)組が優勝。

<高校生新人大会 成績>

男子複 長久手の井上・南組 V

[男子単] 優勝=川辺 笙太(瀬戸西) 準優勝=藤井 啓伍(瀬戸西) 第3位=山本裕太郎(長久手) 玉木 利玖(栄徳)	[女子単] 優勝=浅井 紀乃(栄徳) 準優勝=小出 千尋(旭野) 第3位=三浦あかり(カピタ) 井上 知美(長久手)
[男子複] 優勝=井上雄貴・南 優太 (長久手) 準優勝=赤堀稜斗・横垣安都登 (旭野) 第3位=高橋隆弥・後藤颯太 (瀬戸西) 片桐涼介・由利航大 (旭野)	[女子複] 優勝=伊藤彩夏・川村芽生 (瀬戸西) 準優勝=田中優衣・加藤なつみ (旭野) 第3位=鈴木綾乃・太田茉凜 (瀬戸西) 菊地朝美・岡島百花 (旭野)



男子単・川辺破顔——左から、瀬戸西対決を制して優勝した川辺、準優勝の藤井、3位の山本と玉木

[男子単 4決めで以降]

長谷川和樹(旭野)	64		
山本裕太郎(長久手)	64		
藤井 啓伍(瀬戸西)	61		
鈴木 岳(栄徳)		62	
川辺 笙太(瀬戸西)	61		
棚橋龍之介(長久手)		62	
玉木 利玖(栄徳)	62		
野 光晴(栄徳)			

川辺 笙太
[3決] 山本 62 玉木



男子複優勝の井上・南組(前右)、準優勝の赤堀・横垣組(前左)、3位の高橋・後藤組(後右)と片桐・由利組(後左)

[男子複 4決めで以降]

森屋・下垣内(瀬戸西)	63		
由利・片桐(旭野)	75		
池・島崎(旭野)	60		
井上・南(長久手)		76	
加藤・山中(栄徳)	65		
赤堀・横垣(旭野)		62	
石原・片山(瀬戸)	62		
高橋・後藤(瀬戸西)			

井上・南
[3決] 高橋・後藤 75 由利・片桐

男子単・川辺 (瀬戸西)

女子は浅井 (栄徳) 優勝



4ペーグル 浅井完全V
女子単の浅井(左)は初戦から4試合、1ゲームも失わず6-0-0を揃えて完ぺきの優勝。Vを決めた後、おもしろいように午前のおやつを頬張っていた。左は笑顔さわかや準優勝の小出

[女子単 4決めで以降]

浅井紀乃(栄徳)	60		
田端夏実(長久手)		wo	
井上知美(長久手)	64		
藤田麻衣(栄徳)		60	
伊藤実玖(旭野)	61		
小出千尋(旭野)		wo	
尾藤三菜美(瀬戸西)	60		
三浦あかり(カピタ)			

浅井紀乃

◆他大会と重なり、準決勝リ試合を井上、三浦ともにウオークオーバー。3決もなし。

女子複は瀬戸西 伊藤・川村組

[女子複 4決めで以降]

菊地・岡島(旭野)	62		
長野・中村(長久手)	61		
伊藤・川村(瀬戸西)	64		
古瀬・加藤(旭野)		62	
鈴木・太田(瀬戸西)	64		
鈴木・山田(長久手)		63	
大澤・池田(旭野)	63		
田中・加藤(旭野)			

伊藤・川村
[3決] 鈴木・太田 61 菊地・岡島



女子複Vの伊藤・川村組(前左)、準Vの田中・加藤組(前右)、3位の鈴木・太田組(後左)と菊地・岡島組(後右)

数字 3Q

Q1. 瀬戸地方高校新人戦、エントリヤーの総数は何人?
Q2. 瀬戸1旭対抗戦の最近10年、瀬戸は何勝何敗?
Q3. エントリーが四大大会合計の白星数新記録! その数は?

◆乙葉組準優勝II東海中日ジュニア女子16歳以下復で青木乙葉瀬戸南山中3年(ロクウツド)・光崎トリス組は決勝進出したが四日市商高へへ届し準優勝

◆綾乃頑張ったII瀬戸西2年・鈴木綾乃写真後列左端は協会業務部長・鈴木愛高氏の愛娘。太田菜凜(まりん)と組み接戦を突破して4強入り。惜しくも準決勝で敗れたが3決は快勝。賞状と記念の楯をかつちりゲット!

全英 マリー「残留」2度目 V

初進出のラオニッチ下す

は「離脱」3回戦

EU離脱・揺れる英…全英(7月10日まで)男子単はA・マリー(英)がラオニッチ(カナダ)に快勝し3年ぶり2度目の優勝。錦織は左脇腹痛で4回戦途中棄権。女子は土居が初の16強。決勝はセレナ(米)34歳がケルバー(独)に雪辱し2年連続7度目Vで四大大会より勝利。

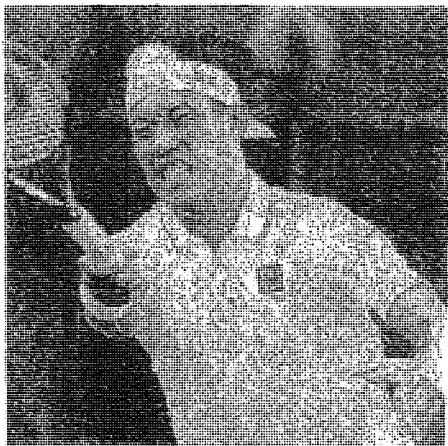


ラオニッチを下し3年ぶり2度目Vに歓喜のマリー

錦織4回戦途中棄権

左脇腹痛 回復せず

チリッチ報道中棄権した錦織



土居、ケルバーに屈す

◆日本選手の成績◆

- ▽単1回戦
 - 錦織○グロート(豪) 64, 63, 75
 - 西岡●スタホフスキー(ウクライナ) 36, 46, 46
 - ダニエル●モノコ(アルゼンチン) 57, 64, 36, 26
 - 奈良○ブレングル(米) 62, 67, 63
 - 土居○チリコ(米) 61, 62
 - 日比野●ペトコビッチ(独) 64, 57, 26
- ▽2回戦
 - 錦織○ベネトー(仏) 46, 64, 64, 62
 - 奈良●ビットヘフト(独) 36, 06
 - 土居○プリスコバ(チェコ) 76, 63
- ▽3回戦
 - 錦織○クズネツォフ(ロシア) 75, 63, 75
 - 土居○フリードサム(独) 76, 63
- ▽4回戦
 - 錦織●チリッチ(クロアチア) 第2セット途中、脇腹痛で棄権 16, 15
 - 土居●ケルバー(独) 36, 16 (全豪ではマッチポイント握ったが)
- ▽女子複1回戦
 - 穂積・加藤組、青山・二宮組突破。
 - 日比野組は敗退
- ▽女子複2回戦
 - 穂積・加藤組、青山・二宮組ともに敗退

<男子単 準々決勝以降>

28クエリー	3-1			
⑥ラオニッチ	3-2	63	67	46
⑨チリッチ	3-2	67	46	75
③フェデラー		75	63	
⑩ベルデイハ	3-0			
32アイユ	3-0			
⑫ツォンガ	3-2	63	63	63
②A・マリー				

◆マリーの話し「特別な勝利だ。悔しい負けを味わってきた最も大事な大会。再びの優勝は嬉しい」

強サーブに堅守崩れず
男子○第1シード・ジョコビッチ(セルビア)が3回戦で第2シード・クエリー(米)に敗れ、第4シード・パブリュカ(スイス)も影の強豪テラポトロ(アルゼンチン)に不覚。決勝は堅守の第2シード・マリーと第6シードで四大大会決勝初進出の強サーバー・ラオニッチ。過去マリーの6勝3敗で5連勝中。サービエース平均22本を誇るラオニッチの230キのサーブを



四大大会22勝目、グランドスラムに並んだセレナ

「リターン集中」のマリーがエース8本に抑えた。第1セット第7ゲームをこの試合唯一のブレーク6-4と先行。第2、第3セットはタイブレーを制し四大大会3勝目。フェデラーが準々決勝でチリッチに逆転勝ち。四大大会での白星を307とし単独で最多記録更新。

セレナ22勝2冠

セレナ・ウィリアムズ

<女子単 準々決勝以降>

①セレナ	64, 64			
21パブリュチェンコワ	62, 60			
⑭チブルコバ	62, 62			
50ベスニナ				
④ケルバー	75, 76			
⑥ハレプ				
⑨ピナーナス	76, 62			
シユウエドワ				

コート「24」に挑む
女子は全仏初Vで第2シードのムクルサス(スペイン)が2回戦1-24位のチユ選手に敗退。決勝は連覇をめざす第1シードの女王セレナと初優勝を狙う第4シード・左腕のケルバー(28歳)。全豪決勝ではケルバーが2-1で勝ち四大大会初制覇。再

戦の第1セット、互いにキープの5-15からセレナがブレーク、7-15で先取。第2セット、3-13からセレナが初めてブレークポイントを握られたが強サーブで切り抜ける。直後の第3ゲームをブレークして6-3で押し切り、2連覇。セレナは四大大会22勝目。史上マーガレット・コート(豪)の24勝に次ぎシユエフイー・グラフ(独)と並ぶ2位の優勝数。優勝賞金2億6千万円獲得。セレナは姉ピナと組んだ複も制して2冠。◆セレナの話し「最高のプレーができて素晴らしい気分。記録はやはり意識した。懸命に努力してきたから喜びは格別。体は元気。勝利へのこだわりも若い世代には負けない。姉の復活も刺激に、まだまだ挑戦よ」

男子複仏対決はマユ組
男子複は仏対決。第1シードのエルベール・マユ組が初優勝。昨全米に続き四大大会2勝目。女子複はピナーナス、セレナのウィリアムズ姉妹が、パボシ(ハンガリー)・シユウエドワ(カザフスタン)組を6-1, 3, 6-1で下して4年ぶり6度目の優勝。混合複はコティネン(フィンランド)・ワトソン(英)組が初V。

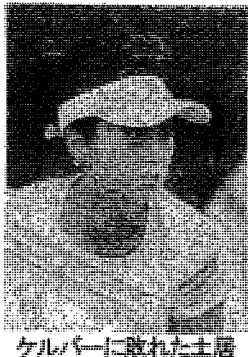
敗。サーブに力が入らず明らかに変調。第1セットわずか17分で1-16。第2セット1-15となつて続行不能の意思を表示。痛めていた左脇腹が悪化したという。初戦から263キの最速サーバ

土居8強ならず

1・グロート、複名手ベネトー、4-2位・クズネツォフと下し、チリッチ戦に初の8強がかかっていた。◆錦織の話し「毎試合痛かったが今日は度合いの違う痛みが来た。四大大会じゃなければ初戦で棄権したかも。3週間治療はお願い。2年連続棄権は情けないが、いざストローク戦はできている。芝が少し好きになつた」

ダニエル太郎、予選上がりの西岡良仁はともに1回戦敗退。

女子は49位・土居美咲が初の16強。全豪覇者で第4シード・ケルバーと左腕対決(過去4戦全敗)。第1セット、攻め急ぎミス頻発、1-7本。5本。第2セットも修



ケルバーに敗れた土居

正でさざーゲームキープのみで敗退。初戦で7-2位に快勝。2回戦は第15シードを倒す金星。3回戦も57位にストレート勝ち。快進撃したが8強を前に力尽きた。奈良くるみは初戦突破したが2回戦負け。日比野菜緒は初戦敗退。大坂なおみは故障欠場。複の穂積・加藤組、青山・二宮組が初戦突破したが2回戦で敗退。

ダニエル8強ならず



男子単打でダニエル太郎(23歳)は25位、ツシグ(米)、格上21歳、英のエドムントを連破し16

強入り。ジョコビッチを倒した元4位。デルポトロに7-6、1-6、2-6で惜敗。杉田祐一(27歳)は初戦でペーカ(米)に競り勝ったが、2回戦で第15シード・シモン(仏)に6-7、2-6で敗れた。

ダニエル太郎 土居美咲



杉田祐一

穂積 絵莉

日本6人全員が初戦突破

日本女子勢の土居美咲(ミキハウ)と、日比野菜緒(ルルン)、復の土居穂積(絵莉)とシモン(米)組も初戦突破したが、メダルには遠かった。

土居、日比野2回戦で涙

土居は単1回戦でシムエドワ(カザフスタン)に6-3、6-4で快勝したが2回戦でストーサー(豪)に3-6、4-6で屈した。推薦出場

25歳・時給300ポンド・アマノチ業



称え合うフェデラーとウィリス

全英第1週の話題は世界772位・地元クラブで子供らを教える25歳のマカス・ウィリス。300位内に入ったことのない無名プロ。時給30ポンド(4100円)でコーチ業。生涯獲得賞金は970万円。今季は3万円少々。大会前、フイラブルフィアに渡り前のコーチ業の話があり心が傾いた。が、最近できたという恋人の励ましで翻意、今大会への挑戦を決意。予備予選予選全勝。初の本戦へ。1回戦、17番シト、教えるや大観衆の声援を受け6-4位・ベランキス(リトアニア)に快勝。大騒ぎ。2回戦の相手は四大大会17勝・元世界王者で第3シードのフェデラー。会場は夢に見たセンターコート。結果はストレート負けだった

「東京再挑戦」ムゲルサに敗れた日比野



「仏」を6-0、0-6、6-4で破る金星。2回戦でクズネツオワのロシアに4-6、6-1、1-6で敗れた。女子は2回戦で全滅。土居は「銅メダルにも悔しがる柔道選手に刺激を受けた」という。

◆欠場・拒否「フェデラー、バブリンカが故障欠場。ジカ熱を恐れ全英準V・ラオニッチ、同4強・ベルデ、女子5位・ハレプら出場辞退。ロシア国家主導のドーピング判明。潔白3選手を除き出場を認めず。

夢のセンターコート、フェデラーに善戦

だが、0-6、3-6、4-16と尻上がり。計7ゲーム取った。観衆のスタンディングオベーションが鳴り止まない。名選手・ナブラチロワや母国の英雄・ハンマンのインタビューを受けた。いわば負け組だった僕がここまでプレーできて感激。夢がかかった。改善点が多く見つかったのが収穫。これからは練習を続ける。賞金685万円は今季稼いだ額の200倍だ。笑顔。ジミエ時代は有望視されたがケガと太りすぎで好成績は残せなかったという。一方、完全アキ状態で戦ったフェデラーは「努力と挑戦」といい話だね。彼はよく準備してきた。私は「これぞプロ」という技を示したかった」と余裕。4強へ進出。

錦織準V

五輪直前のロジャーズ杯(8月1日まで)カナダ男子単打決勝で第3シード・錦織は第1シード・ジョコビッチに3-6、5-7で敗れ、ダブル初制覇ならず。3度目の準V。脇腹不安ながら準々決勝・テイミットロフを6-3、3-6、6-2。準決勝で過去1勝3敗の第2シード・パブリンカを7-6、6-1で撃破。ツオワ方に快勝した王者との決勝は厚い壁を破れず今季5連敗で通算2勝10敗。



準V錦織と優勝ジョコビッチ

◆綿貫8強速進 全英・ジミア男子単打の第6シード・綿貫陽介(アローバルプロAT)は3回戦でウズベキスタン選手に6-7、4-6で敗れ8強入りならず。清水悠太(兵庫、西宮甲英学院)は初戦惜敗◆上地組V 3全英車いす女子単打の上地結衣は初戦の準々決勝でアムステルダム(オランダ)に惜敗。復はホイーリー(英)と組んで3連覇。男子の国枝慎吾は右ひじの回復が遅れ欠場。初の男子単打はリード(英)が優勝。◆日比野、大坂4強ならず ◆女子のブラジルカッパ(8月1日)単準々決勝で第7シードの日比野は第2シード・ベグ(ルーマニア)に、第8シード・大坂は第3シード・ブイグ(ペルー)に敗れともに4強入りを逃した

小さな大横綱 土俵人生に幕

千代の富士(九重親方)。第58代横綱。本名・秋元貢(みづく)。北海道出身。7月31日、膵臓癌のため東京の病院で死去。61歳。小柄「ワル」の異名。優勝31回。53連勝。1045勝。当時18歳。貴花田(現・貴乃花親方)戦で引退決意。89年国民栄誉賞。反骨の永六輔・巨泉相次ぎ

本人永孝雄(たかお)。戦時、長野(疎開経験)。反権力・護憲の放送作家。7月7日、東京の自宅で死去。83歳。浅草生まれ。早大中途退学。ヒット曲「上を向いて歩こう」は安保闘争追悼歌。著作に「大往生」。パーキンソン病患う。病床から参院選を案じつづいた。

本人永孝雄(たかお)。戦時、長野(疎開経験)。反権力・護憲の放送作家。7月7日、東京の自宅で死去。83歳。浅草生まれ。早大中途退学。ヒット曲「上を向いて歩こう」は安保闘争追悼歌。著作に「大往生」。パーキンソン病患う。病床から参院選を案じつづいた。

◆アザレンカ静養 世界6位・アザレンカ(ウクライナ・26歳)は妊娠のため今年大会を欠場。出産後に復帰予定。◆全米賞金48億円に全米賞金総額が増額され、史上最高の4630万ドル(48億1520万円)となる。男女単優勝賞金は350万ドル(約3億6400万円)にアップ。◆「ジャパン女子」に主力=ジャ

会。闘病中7月12日、千葉の病院で死去。82歳。「選挙民をなめた安倍の野望は恐ろしい」と週刊誌に「遺言」○...3分の2、安倍に刃物。二不戦の誓いは言葉だけ。改憲、真の狙いは9条破壊。安倍の任期延長が奥の手。私や戒厳令も国防軍も免。小池都知事、五輪経費削減か? 惨事「障害者19人刺殺」に言葉失う。○錦織が96年ぶりメダル。ナダルを逆転、最終セットに持ち込んだ。ダニエルも女子トリオも頑張った。○暑かった旭戦、瀬戸2連勝。前半で決め「貯金暮らし」。協会ロゴエンブレム決定。加藤隆久氏には色々微調整を願った。栄誉の採用に拍手。早速次号題字に使います。(近藤)

「次号は10月10日過ぎ」